

ご存じですか！文化財

27

「天保九年銘日出安村扶助田記念碑」

市指定史跡
平成16年3月8日指定



問合せ
騎西教育事務所
(☎0480・73・7610)



所在地 日出安970 駒形神社

今回ご紹介する文化財は、天保9(1838)年の正月、日出安村の有志によつて建てられた石碑です。

石碑には、次のような逸話が記されています。

「日出安村では、他の村からお金を借りる村人が多く、先祖からの田畑を手放したり、売り払ってしまう者が多かった。

こうした村の状況を心配する人達は賃金を蓄え、生活が困窮する村民に貸し与えた。また村民も日々節約し農業に励み、数年後には田畑を買い戻すことが出来た。

その後、天保6〜7年は全国的に作物がまったく取れなくな

った。これは「天保の大飢饉」といわれ、人々は草や木の根まで食べたり、多くの者が亡くなった。しかし、日出安村では蓄えたお金で困った家を助けたりしたので、村を逃げ出す者は一人もいなかった。

そして、同9年、生活に余裕のある人達が私財を出し合い、50畝(5,000㎡)の麦田を設けた。この麦田の収入をもつて困窮する者を救う扶助田とし、零落者(落ちぶれる者)が出ないことを目指した。」

このような先人の歴史があつたことを、後世に伝えていくことは大切なことだと思います。



紹介者 嶋村 新一さん(日出安)